

町政に関する誤解と真実 緑川さんからの批判に答えます

— 事実に基づく反論 —

石井かずよし後援会

 令和7年5月

はじめに

町民の皆さまに正確な情報をお届けします

緑川輝男さんの「後援会だより第3号」で石井町政に対する批判がありました。

町民の皆さまに誤解が広がらないよう、事実に基づいて説明いたします。



白子荘跡地利用

計画進行中・観光資源化へ



入札改革と剰余金

町財政の健全化に貢献



物価高騰対策商品券

国の交付金を活用した支援



スーパー誘致

交渉継続中・代替策も実施



イベント改革

住民主導型へ転換・活性化



停滞との批判

実績が示す着実な前進

この4年間で、町政は着実に前進しています。

批判の応酬ではなく、町民とともに白子町をより良くすることが私たちの目標です。

白子荘跡地利用について

計画は進行中、過去の放置を解消

批判

「老朽化した白子荘を解体したものの跡地利用計画が宙に浮いている。計画策定に支出した500万円も無駄になった」

VS

事実

- ✓ 老朽化による安全上の理由から解体を決定
- ✓ 観光資源開発として計画を進行中
- ✓ 500万円は計画策定への必要な投資

進行中の取り組み

-  **専門家との協議**
観光振興の観点から跡地の最適活用を検討中
-  **過去の課題解決**
以前放置されていた老朽化問題に着手

-  **公共施設管理計画**
町全体の公共施設を効率的に管理・活用
-  **未来志向の計画**
町の将来を見据えた持続可能な活用を検討

 計画策定は無駄ではなく、町の未来への必要な投資です

入札改革と1.5億円の剰余金

適正な入札で生まれた町の利益

批判

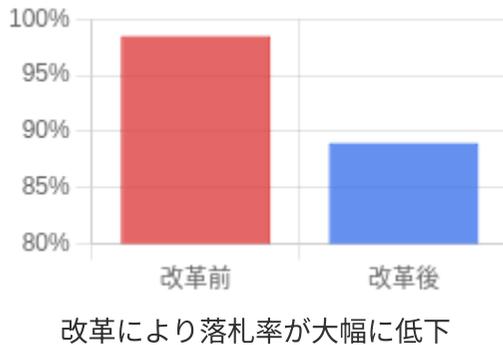
「入札制度を変えて1億5千万円浮いたと言うが、何を基準にした額なのか不明だ。談合排除と言うが具体性に欠ける。」

VS

事実

- ✓ 一般競争入札導入で透明性を確保
- ✓ 落札率が98-99%から89%に低下
- ✓ 1.5億円は予定価格と落札価格の差額

落札率の比較



捻出された1.5億円の活用例



小中学校給食費無償化
令和6年9月から実施



在宅育児支援金
月15,000円の補助金創設



学童保育の町直営化
保護者負担の軽減を実現



健全な財政運営
持続的な町民サービスの充実

入札改革の成果 (令和5年度)

執行残

1.5億円

i 入札改革で生まれた財源は町民サービス向上に直接還元されています

物価高騰対策商品券は「ばらまき」ではありません

国の交付金を活用した適切な町民支援策

批判

「選挙目当てのばらまき政策だ。町の基金（貯金）を浪費している。」

VS

事実

- ✓ 国の交付金を活用、町の基金は使用せず
- ✓ 選挙期間外で法令順守のうえ透明に実施
- ✓ 町民全体が公平に恩恵を受ける政策設計

商品券事業の財源と流れ



国

物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金



町

総務省・内閣府の要綱に基づく
適正な事業執行



町民

物価高騰の影響緩和
全世界帯に公平に配布

根拠と適法性

- 根拠** 総務省・内閣府が定めた交付金活用要綱
- 目的** エネルギー・食料価格高騰から町民生活を守る
- 執行** 透明性を確保し、適正な手続きで実施

公平性の確保

- 平等** 町民全体が等しく恩恵を受ける配布方式
- 効果** 地元商店での使用で地域経済も活性化
- 実績** 多くの自治体で同様の支援策を実施

重要ポイント: この政策は町民生活の防波堤として、国の交付金の趣旨通りに執行したものであり、「選挙目当てのばらまき」「基金の浪費」という批判は事実に反します。

① 地方創生臨時交付金は地域の実情に応じて活用する仕組みとして国が制度設計したものです

スーパー誘致について

交渉継続中、代替策も即実行

批判

「町内からスーパーが無くなったのに何もしていない。誘致交渉を続けていると言うが、進展が見えない。」

VS

事実

- ✓ スーパー閉店直後から迅速に対策実行
- ✓ 巡回販売車の誘致で買い物弱者を支援
- ✓ 新店舗誘致交渉は守秘義務の下で継続中

Ⅲ 町が実施している具体的な対応策



短期的対策 - 迅速実行中

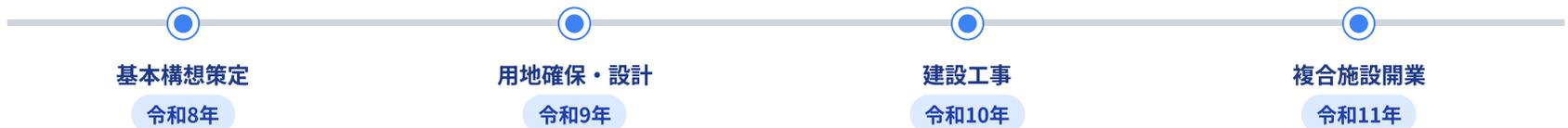
- ▶ 移動スーパー（巡回販売車）の誘致
- ▶ 高齢者向け買物サポートサービス
- ▶ 地域の小規模商店との連携強化



長期的対策 - 計画進行中

- ▶ 新規スーパーチェーン誘致交渉
- ▶ 住民交流センター内に買物機能整備
- ▶ 道の駅的機能を持つ複合施設の検討

住民交流センター構想の進展計画イメージ



現在はスーパー誘致に向けた基本構想の策定段階。買い物環境と地域活性化を両立する複合施設として計画中です。

イベント廃止について

町主催から住民主導への転換で継続

批判

「長年続いた良いイベントを石井町政は次々と廃止してしまった。町に活気がなくなった。」

VS

事実

- ✓ イベント自体は廃止せず、運営形態を改革
- ✓ 主要な祭り行事は現在も継続中
- ✓ 町民が主役となる住民主導型に転換

🔄 イベント運営形態の転換

【従来】行政主導型

- 町が全てを企画・運営
- 予算は全額町が負担
- 住民は参加者としての関わりのみ

改革

【現在】住民主導型

- 住民が主体となって企画・運営
- 町は補助金と運営サポート提供
- 地域色を活かした多様なイベント展開

🌱 継続・活性化しているイベント例

白子たまねぎ祭り

年1回・夏季開催

来場者増加中

地域の特産品「白子たまねぎ」をアピールする町最大のイベント。5月開催され、県外からの来客も増加中。

げんき夏まつり

年1回・8月開催

内容充実

元地域おこし協力隊の小林さんと地元の若者グループが中心となり、新たな催しが加わり活気増。

住民主導型への転換で得られた効果

- ★ 地域特色を活かした個性的な企画増加
- ★ 町の予算を効率的に活用
- ★ 住民の自発的な参加意識の向上
- ★ 民間有志による新企画も誕生

「停滞」との批判について

停滞ではなく数多くの前進があります

批判

「この4年間、改革というスローガンを唱えるばかりで町政は停滞し何も進んでいない。」

VS

事実

- ✓ 多岐にわたる政策分野で着実に前進
- ✓ 具体的な成果を各分野で実現

🏆 分野別の主な成果

🎓 教育改革

- ✓ 小学校統合計画（R11年開校）
- ✓ ICT教材充実と専科教員配置
- ✓ 学校施設の計画的改修推進

👨‍👩‍👧‍👦 子育て支援の充実

- ✓ 給食費の無償化（R6.9～）
- ✓ 在宅育児世帯月1.5万円補助
- ✓ 学童保育の町直営化

🏞️ 観光資源の活用

- ✓ 白子温泉とスポーツの融合
- ✓ 観光庁DMO登録と振興計画
- ✓ 白子たまねぎブランド化推進

🚜 ICT活用農業の推進

- ✓ スマート農業技術導入支援
- ✓ センサー・遠隔管理活用
- ✓ 若者参入モデルの構築

📊 財政健全化

- ✓ 毎年約1.5億円の黒字計上
- ✓ 入札・行財政改革の徹底
- ✓ 住民サービス向上との両立

🏠 若者定住・住宅支援

- ✓ 家賃補助付き住宅の建設
- ✓ 宅地分譲の積極推進
- ✓ テレワーク環境整備の支援

「何も進んでいない」ではなく、むしろ町政は活性化しています

前例主義にとらわれない改革を実行し、財政好転とサービス拡充を両立。町の未来への確かな土台を築きました。

まとめと今後の展望

町民の皆さまとともに白子町をより良くするために

◎ 私たちの目指すもの



信頼される町政

透明性の高い行政運営と誠実な対話の継続



子育て応援

家族が安心して子どもを育てられる環境づくり



健全な財政

無駄を省き、必要なサービスに資源を集中

≡ 今後の主要プロジェクト

🏫 小学校統合・新校舎建設

令和11年開校に向けた最新教育環境の整備

🏠 住民交流センター建設

買い物機能と地域産品販売拠点の一体化

🏞️ 観光振興計画の本格展開

白子温泉とスポーツを融合した観光資源開発

🌱 農業のスマート化推進

若手農業者誘致と最新技術導入支援

🏡 白子町が目指す未来ビジョン

♥️ 安心して暮らせる町

子育て・教育・医療・介護の充実による生涯安心の町づくり

👥 みんなで支え合う共創の町

町民参加による自治と地域コミュニティの活性化

🌿 自然と調和する持続可能な町

美しい自然環境の保全と次世代への継承

💡 活力と魅力ある町

地域資源を活かした産業振興と若者定住の促進

町民の皆さまとともに、より良い白子町を築いていきましょう

改革を止めない一躍進し続ける町の実現へー

これからも全力で町政に取り組んでまいります